

6月のねらい及び今月の各クラスの自己評価・自己評価を踏まえての改善点・保護者と地域への子育て支援

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の約束を守って行動する。(挨拶・手洗い・歯磨き・交通ルール) ・梅雨期の自然に親しみ関心を持つ。(あり・かたつむり・あじさいなどの小動物や草花に触れる。)
-------	--

クラス名	年長児(さくら組)	年中児(うめ組)	年少児(たんぽぽ組)
自己評価	食後の歯磨きがやっど定着し、危なくないように座って行うこと、よく磨いて保育者の仕上げ磨きを受ける事が出来ていた。その他に、約束事として廊下やテラスは歩くように知らせているが、走り回り危険な姿が見られている。また、おたまじゃくしやカエルに親しみ、発見して触れ合うことを楽しんでいた。	特におたまじゃくしやカエルに親しみや関心を持って触れ合っていた。その中で友達同士で見つけ、どんどん仲間の輪が広がっていた。製作に折り紙でおたまじゃくしやカエル作ると「田んぼで見た！」と製作もイメージを持って楽しんでた。	歯みがきをみんな揃ってやっていたが、食べ終わり、部屋に戻った子から歯磨きをするようにすると、歯磨き中の危ない行動も減ってきて保育教諭自身も落ち着いて、一人一人のこどもと丁寧に関わることが出来るようになったように感じる。また、活動も梅雨の時期ならではのカエル探しや、傘をさしての散歩に出掛けたりと憂鬱になりがちな梅雨の時期を楽しんでいる。
自己評価を踏まえての改善点	廊下やテラスを走ると危険であることが理解できるように、その都度知らせることを続けていきたい。生活の中でこども達同士で知らせ合う姿が増えてきているため、気づいたことを発信しあいながら大切なこと、守りたい約束事を意識して過ごすことが出来るようにしていきたい。	登園や降園の挨拶は少しずつ定着しているが、呼ばれても返事をしない子が多いように感じている。返事をする大事さを伝えながら園での約束を更に守って過ごせるようにしていきたいと思う。	楽しむ事ももちろん大事だが楽しんだ後の「片付け」の時間も大切にしていきたいと感じる。楽しんだ気持ちのまま片付けをせず、おふざけになっている姿もあり片付け中に起こるトラブルが多い気がする。片付けも「よし！片付けよう！」と思えるような関わり、そして活動にメリハリをつけていきたい。
保護者と地域への子育て支援	お帳面で活動中のエピソードをお知らせしながら、園生活の様子をより一層イメージしたり支援を必要としている部分について共に考えるきっかけ作りが出来るようにしていった。家庭での様子や園での様子を照らし合わせながら、より良い支援方法を考えて実践していきたい。	園での様子お帳面や口頭でお話出来る際は時間を設けて頂いて伝えたりしながら、今の姿、育ちを知らせていきながら共に考え、成長しながら一人一人に合わせた対応を行っていきたい。	家庭での様子も園での様子もお帳面を通して共有しながら、より良い関わり、支援方法を保護者とも一緒に考え、より良い保育に繋げていきたい。
クラス名	2歳児(すみれ組)	1歳児(ふたば組)	0歳児(つぼみ組)
自己評価	散歩で道路に出ず端を歩いたり、道路を渡る時手を挙げ左右見る事が少しずつ定着してきている。 おたまじゃくしを保育室で飼育し、成長や変化を毎日楽しみに観察している。又、散歩でも田んぼなどで生き物に興味を示す姿が多く見られた。	泣いている子がいたら”いい子いい子”をしたり、友達の名前を呼んだり、親しみを持って関わろうとする姿が多く見られるようになってきた。散歩ではヘビイゴやカエル、ちょうちょ等の季節の自然と触れ合う事を楽しんだ。	天気の良い日は積極的に戸外へ出掛け、ふたばぐみと一緒に活動する機会を増やしたことで、友達の動きを真似して動くようになったり、友達を意識した行動が見られるようになってきた。歩行がしっかりしてきた子とまだ自立歩行が未確立な子と差はあるが、お互いを思いやりながら関わり合う姿が見られるようになった。
自己評価を踏まえての改善点	道路を渡るときどうして手を挙げるのか理由を知り、手を挙げて歩こうと思えるような言葉かけ、関わり方を工夫していきたい。 今生き物に興味をもっている為、興味を広げ色々な物に視野を広げていけるようにしていきたい。	子どもたち同士の関わりに気を配り、上手く言葉や身振りで伝えられない時は保育教諭が代弁したり、身振りの手本を見せる事で言葉に繋げていきたい。	靴を準備してもらい、自立歩行はまだでも手を添えて一緒に歩くことを増やしていく。子ども同士のやり取りや物の取り合い等も成長過程に必要とらえ危険が伴わない限り傍で様子を見守っていく。行動の差はあるが、少人数を活かし友達と遊ぶ楽しさや優しさを育てていきたい。
保護者と地域への子育て支援	トイレトレーニングや衣服の着脱、食事の箸など、自分でしようとする姿がある事、取り組もうとしている姿を伝え家庭でも取り組みやすいように方法や頑張っている姿を、帳面やおたよりで知らせていきたい。	園や家庭での様子をお帳面や口頭で共有し、子ども達の育ちや成長を共に見守っていく。トラブルや怪我があった際は、状況を詳細に伝える事で安心して園に預けてもらえるようにする。	寒暖差もあり体調が変わりやすいので、お便り帳でこまめに情報交換を行っていく。食欲のない日もある為、家庭での食事の様子などを聞き、無理なく食事を進めていく。